

はじめに

教育界を取り巻く競争的環境がますます厳しさをますなか、本学園では、専門職大学院の整備・充実、学部教育の活性化・質の向上、研究組織体制の整備・充実、さらには学生サービス・支援の充実など、「教学主導の学園運営」を基本に据えた多方面の取り組みを展開してきました。また、これらの取り組みを一層発展するための基盤を整えるべく、平成15年度以降、財政の健全化に取り組んでまいりました。

平成18年度は、これまでの成果を受けて、高付加価値かつ独自性・優位性を発揮するハイグレードで個性溢れる学園を目指した平成22年度までの5箇年を対象とする中期経営計画をスタートします。同計画においては、法人関係として、経営基盤整備、ブランド強化のための各種事業の展開、大学関係として、現代的教育ニーズに応える個性ある新学部・学科の展開、

特定のねらいを定めた魅力ある新コース・講座の設置、特色ある教育甲南教育プログラムの推進、甲南平生総合奨学制度の創設、独創性溢れる研究・社会貢献活動の展開、学生生活の質を高める環境整備、高等学校・中学校関係として、甲南大学、そして世界の大学を目指す中高6年一貫(2-2-2、基礎・応用・発展)の教育システムの構築、平生精神をバックボーンとする甲南一貫教育の実現、日常の学習意欲喚起の体制づくり、徳・体力増進のためのスポーツ活性化、伝統に根ざすイノベーションを実現する体制づくりに取り組むこととしております。

その初年度にあたる平成18年度は、中期経営計画に基づく事業を含め、以下の主要事業に取り組めます。

なお、中期経営計画に掲げた事業のなかには、期中に計画が具体化し、事業化を図るものの発生が見込まれます。したがって、現段階における事業計画は、暫定的な要素を含みます。また、期中で計画が具体化した事業は、いずれも明確な目標を定め、その都度承認を得て実行することとします。

．学園関係

1．管理運営・財政

- (1) 経営体としての組織・制度基盤の整備と事務組織の再編についての検討に着手し、可能なものから順次実現を図ります。
- (2) 人材を効率的かつダイナミックに活用する人事制度の確立を目指し、事務組織における専門職の制度化等に取り組めます。

- (3) ファシリティマネジメントにより施設設備を適正な状況に保つとともに、安全・安心・快適な環境整備に取り組みます。また、総合的な視点でキャンパスの将来像を検討し、中長期的なキャンパス整備・拡充計画策定に取り組みます。
- (4) 学校法人会計基準の変化を先取りし、かつ資金力を生かせる財務構造の確立を継続的に推進するとともに、健全財政のマネジメント基準を基本としながらも、必要に応じて瞬発力を発揮する財務運営を行います。
- (5) 学園創立 90 周年・100 周年に向けた記念募金事業実行計画の策定に取り組み、募金活動を開始します。

2. ブランド強化

スポーツ強化支援室を設置して甲南スポーツの強化支援策を検討し、特定競技種目における国内トップレベルの活躍を目指した取り組みを推進します。

.大学・大学院関係

1. 教育

- (1) 現代的教育ニーズに応える個性ある新学部・学科の展開の具体化に向けた検討を行います。
- (2) 特定のねらいを定めた魅力ある新コースとして、会計大学院への進学につながる会計プロフェッションコースを開設します。
- (3) 一層特色のある教育の具現化を目指した甲南グッドプラクティス（GP）として、「留学拡大：甲南プログレス・プロジェクト」、「コミュニティ創生による実践教育プログラム」、「高大連携をととした学ぶ集団づくり」に取り組みます。
- (4) 研修生制度の整備による修了生の司法試験対策強化、先端的な企業法務の研究を行い、その成果を学生や企業に還元する企業法務研究所の設置等を通じて法科大学院教育の一層の発展を目指します。また、平成 18 年度に開設する会計大学院においては、入学前教育、エクスターンシップ、海外研修、修了生フォローアップ講義等を織り込んだ教育体制を整備し、国際的に活躍する会計士を育てる体制を構築します。
- (5) 上記のほか、基礎演習の整備・充実、習熟度別語学クラス編成、チューター等を活用したインタラクティブな個別指導による学習支援、基礎的な知識から広く社会で必要とされる能力までをカバーする情報教育の実施、e-learning コンテンツの充実と活用、遠隔講義システムの活用、アクティブスチューデントの育成、各種資格試験対策強化等、教育の質の向上を目指した多様な取り組みを推進します。

2 . 研究・社会貢献・社会連携

- (1) 文部科学省学術フロンティア推進事業、オープンリサーチセンター整備事業を継続するとともに、平生太郎基金を活用した研究拠点形成（甲南COE）や国際的な共同研究等にも積極的に取り組み、世界水準の研究活動の展開につながる取り組みを推進します。
- (2) 科学研究費補助金を始めとする研究開発事業に係る各種助成金の積極的獲得を図るとともに、「研究シーズ集」の刊行や研究成果の発信、産官学間の共同研究体制・組織を整備し、研究活動の活性化と充実を推進します。
- (3) 社会人講座、公開講座、「ひょうごオープンカレッジ」、少年スポーツ教室等を通じて、教育・研究成果を社会に発信・還元します。また、連携授業・出張講義や体験型実験教室、高校教員との教育実践交流会等による高大連携事業を推進します。

3 . 学修・学生生活支援

- (1) 甲南平生総合奨学制度を創設し、優秀な学生への各種給付制奨学制度や留学、教職等を目指す者に対する目的別貸与制奨学制度を整備するとともに、優秀者の表彰制度を拡充して、学生のモチベーションの高揚と目標の達成を支援します。
- (2) 「キャリアデザイン教育」の拡充と学生のステップアップを促進するプログラムの充実を図るとともに、多様な「キャリアアップ講座」の継続を通じて、キャリア支援の充実・発展を図ります。
- (3) 教職教育センターの運営体制を整備し、教員採用試験に向けた特別プログラムや小学校教諭免許取得支援プログラムを展開します。
- (4) スポーツ推薦入学者を対象に、競技生活のサポート（体力測定と指導、競技者として幅広い知識の教授など）と大学生活のサポート（修学状況の把握と指導）を行います。
- (5) 成績の芳しくない学生への対応と履修指導の強化、インフォメーションと履修登録システム等を統合的なサービスとして展開できるシステムの構築、一部講義室のAV機器更新、講義収録の拡大と活用の促進を図ります。

4 . 環境整備

- (1) 耐震を含む図書館の改修、電気鍵や警報装置の設置等、安全面に配慮した施設設備の整備を進めるとともに、AED（自動対外式除細動器）を各

校舎に配置するなど、安心・安全な環境づくりを推進します。また、キャンパス内全面禁煙を実施し、学生の健康増進を図ります。

- (2) 快適な学習環境を提供するための空調等の改修、西校舎エリアの整備を実施します。
- (3) 九鬼周造博士の蔵書エリアの増改築、滞在型利用を促進するリラックス・リフレッシュルームの設置、書庫利用サービスの充実と拡大、全体的バランスを考慮した適切な蔵書構成の構築等を実施し、図書館・サイバーライブラリの利用環境の向上と充実を図ります。
- (4) 学生サービス全体の基幹となるネットワークやハードウェアの更新を年次計画的に実施します。

・高等学校・中学校関係

1. 教育

- (1) 中学校における1学年1クラス35人・5クラス編成による少人数教育の環境が整うことに伴い、きめ細かな学習指導を徹底することによる日本語・国際語の言語運用能力の養成強化、キャリア・ビジョン養成等を図ります。また、進路選択にかかわるコース再編とコース間の切磋琢磨の体制づくり等の要素を織り込んだ中高6年一貫(2-2-2、基礎・応用・発展)の教育システムを構築し、平成18年度中学校入学生から新システムへの移行を開始します。
- (2) 平生精神をバックボーンとする甲南一貫教育の実現を目指し、活躍するOBや学年を超えた学友たちとの豊かな人脈を活用した人間形成、中高大連携講座、甲南小学校との連携強化を推進します。また、多様な生徒を積極的に受け入れるための入試制度の開発に取り組みます。
- (3) 教員組織活性化のための質・量の強化、アドバイザー・コミッティの設置、教員研修制度の充実等を通じて、伝統に根ざすイノベーションを実現する体制づくりを推進します。

2. 学習活動・学校生活支援

- (1) 既存の給付制奨学金に加え、学力優秀者に対する奨励金制度を整備し、学習意欲の向上を図ります。
- (2) 習熟度別クラス編成科目の導入、学習センター設置、e-learningによる学習支援、家庭学習との連携等の取り組みを通じて、学習指導の充実と日常の学習意欲喚起の体制づくりを推進します。
- (3) 海外姉妹校を拡大し、長短期交換留学や短期語学研修を充実するとともに、クラブ間や教員交換留学などを推進します。

- (4) 生徒各人の将来像や目的意識を醸成するため、OBを招いたワークショップ、TOEIC・TOEFL等の資格講座等、土曜日を活用した自学自修の充実を図ります。
- (5) 大学併設校の利点を生かし、真の文武両立を目指した体育を向上させるとともに、クラブ間国際交流の促進等を通じて、徳・体力増進のための体育活動の活性化を図ります。

3. 学習環境整備

- (1) 情報教育設備を更新し、高大連携授業や e-learning 等の最新の情報教育にも対応できる環境を実現するとともに、Call 教室としての機能を備えた L L 教室の設備を一新し、英語の会話能力の更なる能力向上に役立てます。また、これらを可能にするサーバ機能の大幅な向上を行います。
- (2) 複数クラブの全国大会出場を目指す環境整備の一環として、夜間照明設備等のスポーツ施設・設備を整備します。